

| 会 議 記 録   |   |             |              |
|-----------|---|-------------|--------------|
| 会 議 の 名 称 | 桂川・支川対策特別委員会  | 会議場所 第3委員会室 |              |
|           |   | 担当職員 三宅     |              |
| 日 時       | 平成27年5月28日(木曜日)   | 開 議         | 午前 10 時 00 分 |
|           |   | 閉 議         | 午前 11 時 58 分 |
| 出席委員      | 木曾利廣、 菱田光紀、 齊藤一義、 藤本弘、 湊泰孝、 明田昭、 堤松男 <西口議長>                       |             |              |
| 出席理事者     | [まちづくり推進部] 古林部長、 橋本土木担当部長<br>[都市計画課] 関口課長、 [桂川・道路整備課] 並河課長、 澤田副課長 |             |              |
| 出席事務局     | 鈴木議事調査係長、 三宅主任  |             |              |
| 傍聴者       | 市民 名  | 報道関係者 名     | 議員 名         |

## 会 議 の 概 要

10:00

### 1 開議（木曾委員長あいさつ）

（事務局日程説明）

[まちづくり推進部入室]

### 2 案件

（1）平成27年度事業計画と今後の見通しについて

[まちづくり推進部長あいさつ]

[桂川・道路整備課長より資料に基づき説明]

～ 10:25

[質疑]

<堤委員>

保津工区河道改修の完了について、いつ頃を目途とするような目標をもっているのか。

<まちづくり推進部長>

現在、京都府において桂川上流圏域の整備計画を策定中であるが、近年の洪水被害を踏まえ、慎重に見直し検討がなされている状況であり、本来ならば昨年度末に策定予定であったものがずれ込み、今年度内の目標となっている。その中では、緊急的に整備が必要な河川の位置付けがなされており、桂川本川の整備に当たっては、戦後最大洪水の昭和28年台風13号洪水、概ね30年に1回程度の確率で生じる洪水等を安全に流下させることとされているが、残念ながらその時期については明確に示されていない。ただし下流域の淀川水系の整備計画については、戦後最大洪水、30年確率について、概ね30年間を目途に整備を進めていくこととされている。したがって上流圏域についても、上下流のバランスを保ちながら同様の目標に向けて整備を進めていくものと考えている。

<堤委員>

過去からの長い要望活動の経過の中で、短期集中型の計画が立てられたことがあったがその計画はどうなっているのか。

<まちづくり推進部長>

資料P 2、平成15年度の国の短期集中型事業として、保津工区を緊急対策特定区間として設定されたものであるが、これは当面計画を速やかに完了させることを目標としたものであり、そのおかげをもって平成21年度に当面計画が概成した。

<西口議長>

宇津根橋上流部における堆積土砂の浚渫について、いつ頃の着手となる見込みか。

<まちづくり推進部長>

これまでから地域住民の要望も受けており、我々も粘り強く要望をしているところであるが、浚渫については管理上の問題であるため、計画的な事業化が中々難しく、できる限り確保した予算の中から浚渫に回してもらえようという状況であるとする。京都府では毎年、現況測量を実施されているが、保津工区上流部における流下能力上の断面を見ても、やはり保津工区を優先して整備しなければならないという位置付けがされており、保津工区と合わせて宇津根橋上流部の浚渫も実施されるよう、今後も要望に努めていきたい。

<藤本委員>

雑水川改修について、毎年のように浸水被害を受けている地域住民にとって、安心を得られるようになるのに、いつ頃までかかる予定か。

<まちづくり推進部長>

下流部においては、事業化により既に用地測量や春日橋の構造検討等が進んでいるが、クニッテル通りを迂回して実施する大掛かりな工事となることから、具体的にいつまでということは把握していない。上流部においては、南郷池上流の合流部等の浚渫について緊急的に実施されたところであるが、その上流部の橋梁の検討に時間を要しており、何とか今秋あたりには着手してもらえよう要望している状況である。

<明田委員>

雑水川上流部の亀岡幼稚園跡地周辺の整備計画はあるか。

昨年度実施された宇津根橋下流部の堆積土砂浚渫による撤去土砂8500m<sup>3</sup>の搬出先について説明を。

<まちづくり推進部長>

ふるさとの川モデル事業としての計画があり、一定の河川改修の事業の中で実施していくものと考えている。

<桂川・道路整備課長>

8500m<sup>3</sup>のうち、アクセス道路に2000m<sup>3</sup>、残り6500m<sup>3</sup>については、国道372号南八田方面の築造工事に充てていると聞いている。

10:40

[まちづくり推進部退室]

(2) 保津工区等現地視察

[10:45出発～11:58帰着]

3 その他

<木曾委員長>

今後、河川整備状況を見ていく中で、必要に応じて会議を開催していくのでよろしく  
お願いします。本日はこれにて散会する。

～ 11 : 58